

集落活動センター「汗見川」による集落維持の仕組み

- 次世代に継ぐ、魅力ある集落へ -

汗見川地域の課題

- ① 高齢化や人口減少により、集落活動や共同作業等のコミュニティ機能が維持できない。
- ② 若者の地域外への流出により、将来的に地域や産業を担う人材がいない。

課題を解決するための手段

地域住民が主体となって、汗見川ふれあいの郷 清流館を拠点に、集落の連携による既存活動のブラッシュアップや新たな活動の実施をつうじて、次世代の人材を確保し、集落での活動をいつまでも続けられる魅力ある集落を目指す。

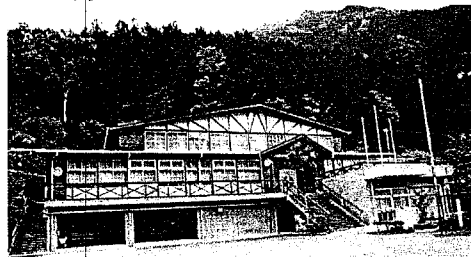
目的

- 集落の維持
- 将来の担い手となる人材の確保、育成

集落活動センター「汗見川」

集落活動の拠点

「汗見川ふれあいの郷 清流館」



連携する6集落(104世帯:216人)
【立野・坂本・屋所・沢ヶ内・瓜生野・七戸】

3年後のイメージ

★農産物等の生産、販売

- ・薬草の栽培等

★鳥獣被害対策

- ・シカ肉の活用

★生活支援サービス

- ・買い物支援など高齢者を地域で支える仕組み

★安心・安全サポート

- ・見守り活動など高齢者を地域で支える仕組み

★特産品づくり・販売

- ・充実、強化を図った活動の実施
- ・新たな特産品づくり
→ 山菜・シカ肉等の活用

★人口交流・体験

- ・充実、強化を図った活動の実施
- ・新たな交流イベントや体験メニューの実施 → 登山ツアー等

★防災活動

- ・地域防災体制の充実
- ・ヘリポートの活用



シソジュース



手打ちそば



森のおきゃく

仕組みづくりの推進役
【本山町ふるさと応援隊】

支援

本山町役場

高知県庁
【支援チーム】

運営主体・体制

【運営主体】

汗見川活性化推進委員会

【運営体制】

・委員会の部会長、世話役

・本山町ふるさと応援隊(高知ふるさと応援隊)

※役場、地域支援企画員が共同でサポート



活動のイメージ

現状

★課題

- 高齢化
- 人口流出
- 担い手不足
- 地域活動のマンネリ化

★これまでの取組

- ・清流館の運営
- ・特産品の開発・販売
- ・交流イベント・体験メニューの実施

H24～H26

★これまでの取り組みの充実強化

- ・既存の特産品（シンシユース手打ちそば）をしっかりと売る
- ・県産シリアーや森のおまきやく等、既に行っている交流イベントの充実

魅力ある集落にすることで、次世代に継げる集落を目指そう！

★これから新たにを行う活動

- ・清流館の予約イベントや特産品や交流体験イベントの情報を掲載するサイトの設置
- ・山菜やシカン内等を活用した新たな特産品づくり
- ・倉山ツアーズ等、新たな交流イベントの体験メニューづくり
- ・買い物支援や原守の活動など、町首を地域で支える仕組みづくり
- ・食改善活動等による地域の集いの場づくり

将来

- ・ファンの増加
- ・収益の向上
- ・UITターンの促進



高齢者が元気が

次世代のメンバー加入

充実した地域活動

集落が支え合い、様々な地域活動が行われる魅力ある地域！

推進体制

運営主体：汗見川活性化推進委員会

森づくり推進部会

地域づくり推進部会

人づくり・健康づくり推進部会

支援

本山町ふるさと応援隊
(高知ふるさと応援隊)

本山町役場
まちづくり推進課
健康福祉課 など

高知県地域支援企画員

全面的な支援

高知県庁集落活動センター支援チーム